

個人質問

安心・安全なまちづくりを目指して

上代 和利 議員



問 白里地域2カ所ある津波避難タワー、築山第2防災公園の活用について

答 津波避難訓練に際しましては、当該施設を避難場所のひとつとして活用し、避難された方へ施設や設備の利用方法を説明するなど、津波避難時の対応について周知し、防災意識の向上に努めています。

問 市のハザードマップの見直しについて伺います。

答 昨年度、千葉県が津波防災地域づくりに関する法律に基づき、新たに津波浸水予測を発表したことから、それに合わせて市の津波ハザードマップを見直す予定であります。

問 津波避難計画の見直しで、一時避難場所としての九十九里の有料道路の活用について伺います。

答 千葉県と千葉県警察に確認したところ、道路交通法により当該有料道路は歩行者の立ち入りが禁止されていることから、一時避難場所として指定し、活用することは困難であるとのこと。

問 次に、避難所に女性スタッフを配置することについて伺います。

答 災害時の避難所においては、プライバシーや衛生環境など、生活面に関する様々な問題への対応のほか、女性ならではの相談や悩み、女性用品の供給など、避難所運営には女性に配慮した対応が必要であり女性職員に配置が望ましいと考えています。今後、避難所の開設運営にあたりましては、可能な範囲で女性職員の配置を努めてまいります。

問 次に被害にあった農業ハウスの復旧進捗状況についてと支援策についてお聞かせください。

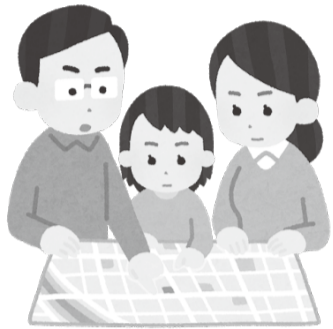
答 補助金交付決定前の着工制度を

活用し、既に修繕等が完了しているところもございますが、資料や作業員不足から復旧が進んでいないところもあるかかっています。市といたしましては、各農家の相談に応じながら、一日も早い復旧と営農が可能となるよう適切な支援に努めてまいります。

問 次に今の空き家の実態と空き家バンクの登録状況と空き家の活用についてお聞かせください。

答 令和2年1月末までで468件となり、空き家バンクについては申請数が6件うち登録件数が4件であり、成約件数は4件と登録された物件はすべて成約済みとなっております。定住化については移住、定住に向けた各種の施策を推進する先進事例の取り組みを研究いたしまして、市の実情に応じた施策の検討をしてまいります。

最後にバスについて伺いました。課題も多いためです。検討もされているようですが、交通弱者の足と交通不便地域のアクセスのためによりよくお願いいたします。



個人質問

①文化財を保護し観光資源として活用を
②災害対策、避難所対応の検証

蛭田 公一郎 議員



①文化財保護について

問 正法寺入口の環境省・千葉県連名の説明板がボロボロ状態になっている。文化財管理の現状はどのようになっているか。

答 指定文化財の管理につきまして、大網白里市文化財の保護に関する条例第6条におきまして、所有者が行うことと規定されております。市の文化財保護条例は、文化財の管理は、文化財以外の説明板とか標識などについても必要に応じて修理を行う、また行って貰うということになっている。是非改修されたい。

問 檀林配置図は、200年以上も前の往時の様子を今に伝えるものだが傷みが激しい。改修されたい。また、本市には高村光太郎の智恵子抄ゆかりの場所がいくつかある。隣町の九十九里町とも連携しながら新たな名所の発掘も行い、文化財や名所を観光資源として活用されたい。

②災害対策について
問 昨年の台風・豪雨による家屋損壊の支援申請件数は約50件、金額は1千万円程度ということだが、12月補正予算では300件以上を想定し1億8千万円の予算を組んだ。罹災証明書発行数の1千件以上に比べても申請が極端に少ないのは何故か。

答 事前相談の際に被災者の方々から修繕を請け負う業者の対応が追いつかず、見積書の徴収や契約締結の見通しが立たないため、申請をすることができないとの声も聞きしております。そういう方に対しては、今後も引き続き申請を受け付けて頂き、また

そのことを被災者に十分周知された

問 避難所対策としてのトイレの洋式化問題だが、昨年の台風で避難された方々が、トイレが和式であるために高齢者が使用できないという声を聞いた。小・中学校のトイレの改修の取り組みについて、どのように進めていくのか。

答 現在の厳しい財政状況を考慮しつつ、故障等により便器の交換が必要な場合は適宜洋式のものに切り替えるとともに、学校施設の老朽化の状況等を勘案した中で、計画的な整備を検討してまいります。

問 文科科学省は、学校施設整備費の小・中学校のトイレ改修は、国の国土強靱化の関連予算としても計上している。自治体の持ち出しは実際には3分の1で済むと言っている。一気にいかないと、国の学校施設の整備費などを活用して改修方に努めて頂きたい。

問 避難所に避難するに当たっては、食料、水、毛布、薬などの生活必需品は持参するのが原則になっているが、特に毛布について、高齢者や交通手段のない方などは毛布を持って避難することはできない。そうすると、避難をためらってしまふということもなにかねない。検証委員会の中でぜひ検証して頂きたいがどうか。

答 避難時における毛布等の持参の呼びかけでございますが、高齢者等の要配慮者の方など、毛布等を持参することが難しい場合もあることは理解いたしますが、市の備蓄数にも限りがございますので、可能な範囲で持参していただくようご協力をお願いしたいと考えております。

個人質問

市民の声を届け誰もが楽しく暮らせる豊かなまちづくりの実践！

林 正清子 議員



問 NHKの調査データによると、東日本大震災後に、亡くなった人が10人以上の自治体に調査をしたところ、障がい者の死亡率は、住民全体の死亡率の2倍になっているそうです。昨年12月議会での質問に対する回答で、中央公民館が福祉避難所として対応がとれていたと伺いましたが、実際に要配慮者の利用は何名くらいあったのでしょうか。それは、想定数に当てはまるものでしたか。

答 中央公民館には、介護用ベッド12台と車イス4台を配置し、8名の方を受け入れました。

問 県立大網白里特別支援学校と中央公民館の福祉避難所をどの様に周知したのかを伺います。

答 県立大網白里特別支援学校が福祉避難所として併設された場合は、防災行政無線やホームページへの掲載等により周知を図っていきます。中央公民館の福祉避難所としての開設は、電話による問い合わせの方に案内しました。

問 自力で避難できない要配慮者への対応として、福祉事業所の持つ大規模災害では福祉事業所も被災する可能性がありますので、平時からの連携体制の構築が重要です。どの様な準備をされていますか。

答 行政・障がい福祉事業所・障がい者団体等と山武圏域技術協議会を設置し、災害時の支援レベルの判断や困った事案などを共有しております。引き続き当協議会を通じて連携を図っていきます。

答 今後、福祉関連部署と連携し、要配慮者の意見等を参考に福祉避難所の設置、運営の改善に努めます。

問 大雨に備え身近な側溝の掃除を全市一斉にゴミゼロ運動に併せて、全自治体に協力してもらうことは出来ないでしょうか。

答 側溝清掃の時期は、地域の自治会により様々です。また大量な土囊の回収など市の対応が困難である為、実施することは難しいです。

問 治水に関する市の方針は。

答 小中川の大網駅上流について、整備計画を策定し、事業化を進めています。また、金谷川は約3割の整備に留まっている為、この両河川を50mm/時の計画強度に対応することを最優先にします。

問 大網白里市には小西檀林・宮谷檀林・細草檀林と三つもの檀林がありました。観光資源として利用出来ないでしょうか。

答 檀林は、デジタル博物館で詳しく紹介されておりますが、現在は観光資源としては位置付けていません。CO2の削減に取り組んでいます。

問 地球温暖化対策は、市の職員だけが取り組む問題ではなく、「市民一人ひとりが実行する環境に負担をかけるまいまちづくり」を計画していく必要があると考えます。周知・啓発により、推進させて頂きますよう、ご検討をお願いしたいと思います。

※他に◆通学路、大網幼稚園付近の危険箇所◆自力で避難できない要配慮者への対応◆福祉避難所に関する聞き取り調査◆桂山池の整備◆稲わらの水路流入について質問しました。